

仕事の段取り力養成講座 補足資料 ～ITシステム開発プロジェクト～

株式会社オフィス新



目次

- ・補足資料① ITプロジェクトの公開データ
- ・補足資料② ITプロジェクトにおけるプロジェクト立上げ時の確認事項
- ・補足資料③ プロジェクト計画の留意点
- ・補足資料④ 会議の目的と進捗報告のポイント
- ・補足資料⑤ 段取り上手になるために必要なこと

補足資料①

IT開発プロジェクトの公開データ

2022年
株式会社オフィス新



1. 一般公開されている主な基準値データ

資料名(提供元)	内容
ソフトウェア開発データ白書 (独立行政法人情報処理推進機構:IPA)	2004年から大手ITベンダを中心にデータ収集を開始。2018-2019年版では約4500件のデータを蓄積・分析し、業種編(金融・保険業、情報通信業、製造業)も発行。 IPAサイトからDL可(http://www.ipa.go.jp)。
組込みソフトウェア開発データ白書 (独立行政法人情報処理推進機構:IPA)	2015年に初版、2017年に2版、2019年に3版を発行。3版では約600件のデータを分析。組込みソフトウェアならではのリアルタイム性(時間制約)の強弱による違いや利用環境の違いなど多様な製品ごとの分析も行っている。 IPAサイトからDL可(http://www.ipa.go.jp)。
ソフトウェア開発データリポジトリの分析 (一般財団法人 経済調査会:ERA)	2010年に第1版、2015年に第2版、2020年に第3版を発行。第3版では2001～2018年に収集した約400社、2200件のデータをもとに分析。日本ファンクションポイントユーザ会(JFPUG)と連携し、ベンダを中心にデータを収集している。 経済調査会サイトからDL可(http://www.zai-keicho.or.jp/)
ユーザー企業 ソフトウェアメトリクス調査 (一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会:JUAS)	2004年から国内ITユーザ企業から収集を開始。開発・保守・運用プロジェクトの実態データが収集されている。発注者の視点からソフトウェアの生産性、工期、信頼性などの分析結果を公開している。 2019年版は「システム開発・保守調査」¥6,000(税別)、「システム運用調査」¥3,000(税別)が、同協会サイトから購入可(http://www.juas.or.jp/)
プログラミング言語テーブル (米SPR社)	約1万件の事例から、COBOL、C、Java、Visual Basicなど約500種類のプログラミング言語別の言語水準(アセンブラと比較した高級度)を分析。その結果からFPあたりのLOCや生産性を提示。